

高速道路整備が白川郷観光入込み客数に与える影響調査

名城大学 西本 将典
名城大学 フェロー 松井 寛
名城大学 栢川 幸詩

1. はじめに

岐阜県白川村の合掌造り集落は、1976 年に国選定重要伝統的建造物群保存地区に選定され、1995 年にはユネスコ世界遺産条約に基づき国内で 6 番目の世界文化遺産として登録された。また、平成 11 年 11 月に東海北陸自動車道荘川 IC が開通し、平成 14 年 11 月には白川郷 IC が開通し今後東海北陸自動車道全線開通により白川郷へ訪れる観光客さらに増大すると予想され、白川郷に与える影響は様々なものが考えられる。そこで本研究では、今後東海北陸自動車道全線開通により白川郷へ与える影響の分析を行うために、現時点での白川郷の観光実態を把握するため白川郷で観光実態調査としてヒアリングアンケートを実施し白川郷に与える影響分析を行う。

2. 白川郷の観光客の推移

白川郷への観光入込み客数をあらわすデータとして図 1、図 2 に具体的なデータを示す。

図 1 は白川郷全体に訪れた観光客数を示しているが、平成 10 年、11 年と観光客は多少増加傾向にあるが、東海北陸自動車道荘川 IC が開通した直後の平成 12 年は平成 11 年と比べ年間の観光客数が 18 万人増えており、荘川 IC 開通の影響によるものだと考えられる。また開通後、平成 13 年、14 年と年々観光客数は荘川 IC 開通前の増加傾向に比べ、増加率が倍以上の増加傾向にあると考えられる。

図 2 は、白川郷の世界文化遺産荻町地区の駐車場でのデータであるが、荘川 IC 画開通する前の平成 10 年、11 年では普通車は減少傾向にあるが、大型車（観光バス）は増加傾向にあり白川郷へは普通車よりも大型車を利用するという結果となったが、こちらも図 1 と同様に荘川 IC が開通した直後の平成 12 年は普通車、大型車のどちらも台数は増加傾向にあるが特に普通車が年間約 2 万台も増え荘川 IC の開通が大きく影響していると考えられる。また、大型車も年間約 4 千台の増加という結果となり普通車、大型車とも荘川 IC の開通が大きく影響を及ぼしたものと考えられる。

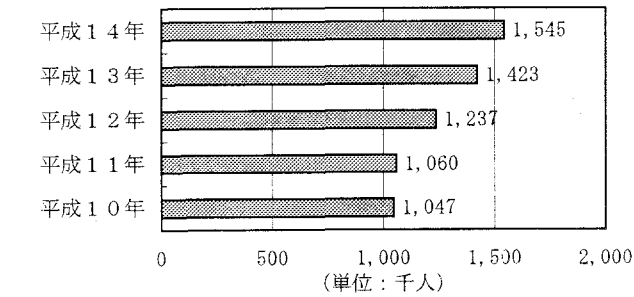


図 1 白川郷の観光入込み客数

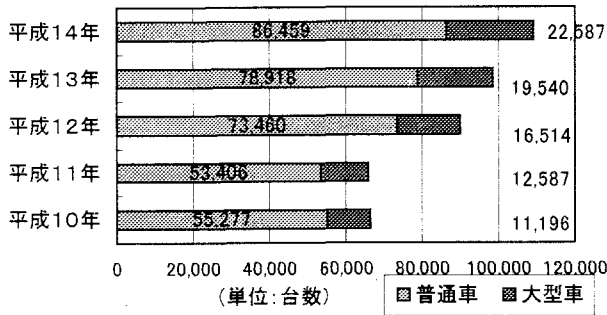


図 2 荻町合掌集落への入込み台数

3. 白川郷観光実態に関するアンケート調査

3.1 アンケート調査概要

白川郷の観光実態を把握するため、白川村の道の駅及びせせらぎ公園駐車場で二日間調査を行った。

調査日時： 平成 15 年 10 月 18 日（土）、19 日（日）
（どぶろく祭り期間中）

調査場所： 白川郷道の駅駐車場
（飯島地区 どぶろく祭り会場付近）
せせらぎ公園駐車場
（荻町地区 世界文化遺産指定地区）

調査方法：駐車場内及び路上で観光客を対象にヒアリング形式でアンケートを行う。

3.2 調査項目

①白川郷に訪れた回数②前回白川郷に訪れた時期③前回訪れたときの経路④今回の経路⑤立ち寄った主な観光地⑥立ち寄る主な観光地⑦人数⑧旅行予定⑨宿泊地⑩予算⑪住所⑫年齢

3.3 調査結果

アンケートのサンプル数を以下に示す。

白川郷道の駅駐車場	86 サンプル
せせらぎ公園駐車場	208 サンプル
合計	294 サンプル

4. 分析結果

図3は今回行ったヒアリングアンケートの結果と白川村役場観光課が白川村で交通量調査を行った結果から観光客の住所分布を示す。また、図中に示すその他は北海道、東北・甲信越・中国・四国・九州地方を示す。

図3から荘川IC 開通前と開通後を比較すると、東海地方を占める割合は若干増加したが関西地方の占める割合はそれ以上に増加した結果となり、白川郷 IC 開通前と開通後を比較すると北陸地方は全体を占める割合が減少しているが、関西地方やその他の地方からの観光客数が増加している。これは荘川IC、白川郷ICが開通したことにより東海地方、あるいは関西地方からの交通アクセスが容易となり、白川郷への交通アクセスが容易となったためであると考えられる。

図4は、白川郷を訪れる観光客で日帰りの観光客と白川郷で宿泊した観光客を示す。

図4を見ると、近年東海北陸自動車道の路線拡大によって観光客数は増加しているが日帰り客増加し、白川郷での宿泊客数は多少増加傾向にあるがあまり変化は見られなかった。これは、今まで白川郷で宿泊していた観光客や宿泊でしか訪れることのできなかった観光客が日帰りで白川郷を訪れるようになったと考えられる。

図5, 6 は今回行ったヒアリングアンケートによる観光客の予定と、観光客の宿泊地を示す。

図5, 6を見ると、日帰りが最も多く次に、1泊2日の旅行予定が多い結果となり宿泊地は北陸地方が一番多い結果となった。これは、白川郷IC、荘川ICの開通により白川郷までの交通アクセスが容易となったことと、今回アンケートを行った曜日が土日であると考えられまた、白川郷でどぶろく祭りを開催しているため白川郷では宿の予約が取れず、北陸地方や高山市で宿泊したのではないかとということと、白川郷よりも北陸地方や、高山市の観光名所の数が多いということとまた、宿泊施設が多いためであると考えられる。

5. まとめ

今後、東海北陸自動車道全線開通により今以上に観光客

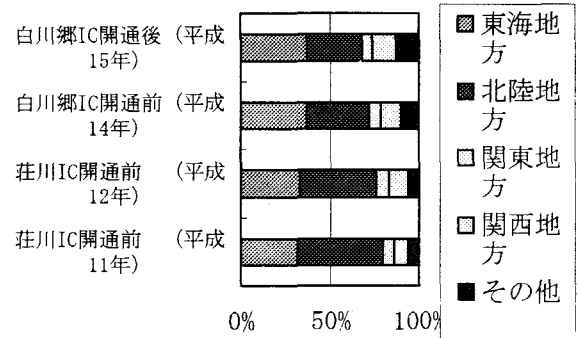


図3 地方別の観光客の割合

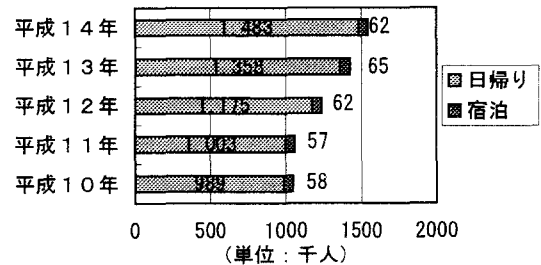


図4 日帰り客と宿泊客の割合

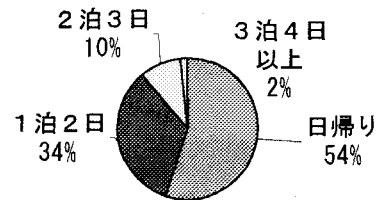


図5 旅行予定

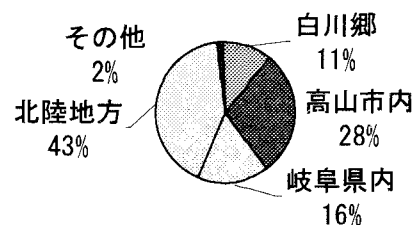


図6 宿泊地別の割合

数は増加すると考えられるが、図4~6で示したように日帰りの観光客は増加するが白川郷での宿泊客数はあまり変化が見られず、北陸地方または高山市といった他の観光地での宿泊客が増加するのではないかと考えられる。

6. 今後の課題

今後は、高速道路が全線開通により予想される変化として観光客数の増加、誘致圏の拡大、周遊コースの変化について白川郷に与える影響分析を行う。

[参考文献]白川村役場ホームページ観光課 商工課情報及び観光統計、交通量調査参照